

# ムンショット型 研究開発 ビジネス会議

## 21世紀型のムンショットのあり方

最適な目標設定とは?

- 一言で"言える"
- インパクトがある
- コミットメントになる

使われて"達成"といえる  
はじめの達成" 21世紀型

社会実装  
まで含む

ムンショットの中心  
↓  
日本の競争力  
社会設計

AI, ロボットなど  
社会設計型テーマを!!

産業界の  
COCOA, ネットの  
テーマ提案

対象課題と  
その解決法を  
イメージする  
形に

産業常務分野に  
関心大

## 理化学研究所の取り組み

1980年代  
国際共同研究システム

自分たちの取組みは  
社会どうつながるのか?

革新的な  
実装に至らず

身近な課題  
世代間格差 etc...

社会全体の幸福とは?

破壊的  
イノベーションを!!

ラジカル  
イノベーション

我々がリードになって  
全世界を巻き込み!!

個々の技術 < 社会実装

法的整備  
民間受け入れ

技術未知 → 不安や評価が  
未来未知!

基礎科学の中に  
未来の可能性を  
見出した!!!

分野間  
"共創"

社会的に苦しい  
声の届かない人を  
救いたい!!

女性の声は...?  
若者

子供を増やそうの  
視点はどうか  
生殖医療 etc

比認可  
30年以上  
↓  
比認可  
半年

資料のあり方が  
全体に伝わりづらい

プロジェクトの進め方を  
教育に取り入れることが必要  
研究者教育

テクノロジー ↔ 幸福

法の既得権益を  
超えるものこそ  
ムンショットの醍醐味

20年以上必要な  
計画を5年で遂行するために...

- バックキャストの実案
- 若者の起用
- 達成条件の宣言

食料生産における  
課題

生産効率 水の需要(増)

解決策の明示を

# 海外動向と参考事例

米  
中  
欧

各国大きな動きが見える

EU Horizon 2020が進行中

Type A  
具体目標  
Type B  
解決策が細

RISE報告書で  
ミッション設定や考案提言



DARPA  
軍事←基礎研究  
懸賞方式を

ARPA-E  
NSF

参考 → 英 ISCF  
独 現在設計中

# 目標設定に向けた考え方

前回振り返り

次々成果を生みだせる  
設計の必要性

↓  
ガバナンス全体の  
巻き込みを

## 方針案

1. 日本が抱える課題領域  
2. へろからピロクアッポ
2. 各領域ごとの目標設定

## 参考事例

(EU: 家庭ごみに向けた  
技術的目標)

DARPA: 軍事分野に注力

設定目標の**粒度感**を  
検討したい。

主観的

資料に示された参考例を  
引用するのは難しい

検証可能  
実装可能)な目標を

普通の技術開発との  
差別化が必要

ミッション修正の必要性  
↳ 数値との関連

人材への視点

- ・ポスドク等へのファースト
- ・公平性の担保

意見交換

日本のイコシステム  
↓  
イコシステムを

関係省庁がない問題を目標に!  
この場にでない見えない課題こそ  
やるべき価値があるのでは  
(女性 オフィスワーカー)

EUとDARPAは  
どちらが成功?

↓  
DARPA = 目標が具体的

↑  
一般的でない  
目標から一般解決が!!

## 実装

引数分解

アポロ計画を見ると  
ロケット製造ではない

↑  
宇宙に人間の  
生活空間をついた

人間の因果関係を元にした  
システム変更

日本流の  
ムーンショットを世界に!!